



## 朝の読書スタート 子どもたちに読書の喜びを！

朝の登校時にあるお母さんから、「現地校では、学年末を迎え、子どもたちはテスト勉強や宿題・課題の提出で夜遅くまで学習しています」との話を聞きました。それでも、がんばって補習校に来ている子どもたち。今日も「補習校に来てよかった」と思える一日であってほしいと思いました。



先週から朝の読書が始まりました。教室を回ってみますと、朝に図書室で本を借りている子もいましたが、多くの子が家から持ってきた本を（静かに読書3年生）出して静かに読んでいました。読書活動が定着し始めたのでしょうか。園児や低学年の子どもたちには「読み聞かせ」が行われました。幼稚部では、絵本を読んでいただいているお母さんのそばに近づいて絵本の絵を目で追いながら集中して、じっと話を聞いていました。

今年度も昨年と同様、読書推進活動として「子どもたちに読書の喜びを！」を目標に取り組みを始めたいと思います。読書は「心の栄養」となり「豊かな人間性」が育成されますが、補習校の子には、更に日本語力をつけ、維持していくためにも読書は大変重要です。先生方には、「朝の読書」の指導を通して読書傾向の把握やアドバイスをお願いし、年間の授業を通して「読書のススメ」の指導をしていただきます。併せて、図書室の積極的な利用の呼びかけ活動の推進し、小学3年生以上には年間を通じての読書記録カードの設ける取り組みも始まりました。また、読書活動に積極的な子どもには表彰の機会を設けたいと思っています。ご家庭でも、これまでも呼びかけていました「本を中心に深める親子のふれあい」として家庭での「読書タイム」を設けてくださるよう重ねてお願いします。読書効果が期待できます。子どもの読書を推進するには、各家庭で親自身も読書に親しむ時間を確保することが重要です。今年も家庭と連携した読書活動を推進したいと思います。この日の昼休みの生徒会では、6月の目標として「図書室の本をたくさん借りよう」が決まりました。子どもたちの読書への意欲の高まりに期待したいです。

また、この生徒会では、更に今取り組みを進めている震災支援活動について取り組みの具体化としてどのような「お手伝いをしているか」が報告されていました。その中で「近所の芝刈りをする」



(生徒会の様子)

「肩たたきをしてお金を貯める」「折り紙で作ったものを売る」「クッキーを焼いて近所で売る」中には「ブレスレットを作って学校で売る」など様々な工夫をこらして「お小遣いを貯める」活動をしているようです。ご家庭では、どのような活動がされていますでしょうか。生徒会では、6月18日に一回目の集約としてお小遣いでたまったお金を義援金として集約する予定です。生徒会での趣旨をご理解いただき、ご協力を宜しくお願いいたします。